

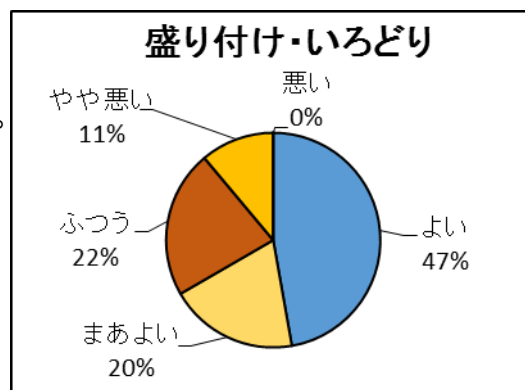
2021年度 お食事アンケート調査結果

- 【対象】 北2 回復期リハビリ病棟で普通食・軟菜食を提供している36名の患者様
【実施期間】 2021年9月13日～9月16日
【回答率】 88%
【実施方法】 直接聞き取り方式で実施しました。

【調査結果】

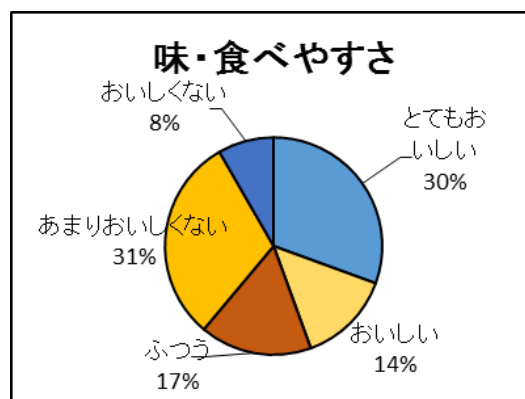
①盛り付け・いろいろ

- ・「よい」が47%で最も多く、「まあよい」も含むと67%の方が「よい」と回答されませんでした。
- ・「やや悪い」と回答された方は11%で「悪い」と回答された方はおられませんでした。
- ・盛り付けに関してあまり意識して見ていなかったとの感想が数件ありました。



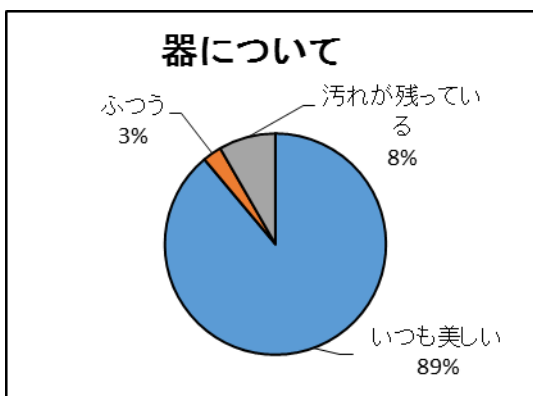
②味・食べやすさ

- ・「とてもおいしい」が30%、「あまりおいしくない」が31%とほぼ同率でした。
- ・「おいしくない」との回答も12%みられました。
- ・「おいしくない」と回答された方の中では「食事が水くさい」「味が薄い」など味の薄さに関するご意見を多くいただきました。
- ・「とてもおいしい」と回答された方の中には「出し汁が効いているので薄くてもおいしい」「塩分やカロリーの制約がある中でここまで出来るのはすごい」などの感想もありました。



③器について

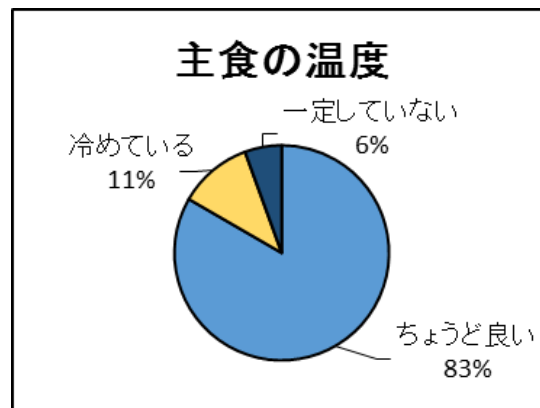
- ・「いつも美しい」が89%と最も多いながら「汚れが残っている」との回答も8%ありました。
- ・トレーにコップの跡が残っていたとの意見がありました。



④食事の温度について

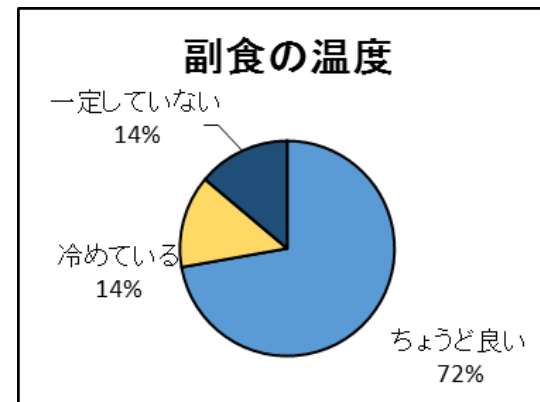
〈主食に関して〉

- ・「ちょうどよい」が83%で最も多かったです。
- ・「一定していない」も6%みられました。
- ・「リハビリで時間がずれるので冷めてしまっている」との意見がありました。



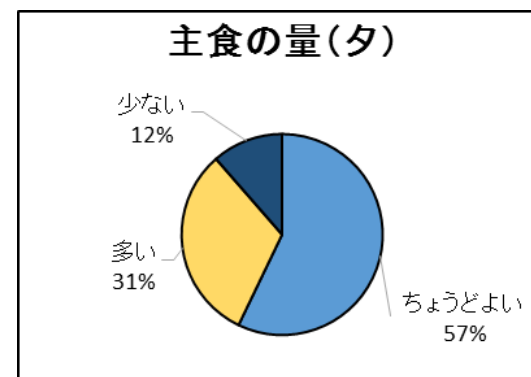
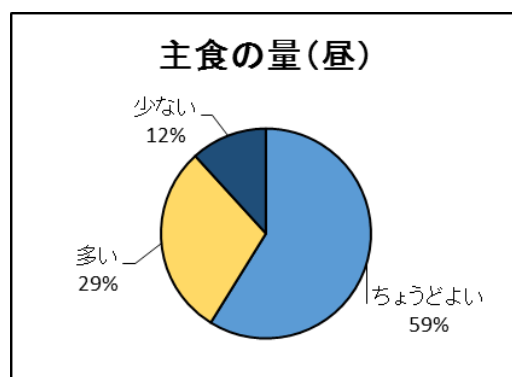
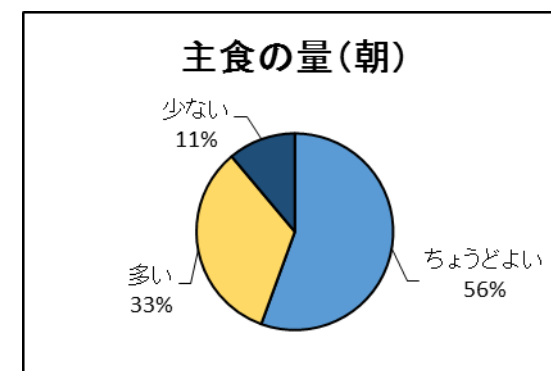
〈副食に関して〉

- ・「ちょうどよい」が72%で最も多かったです。
- ・「冷めている」「一定していない」が同率で14%ありました。
- ・「温かく食べるイメージのものが冷たく出てくる」との意見もありました。



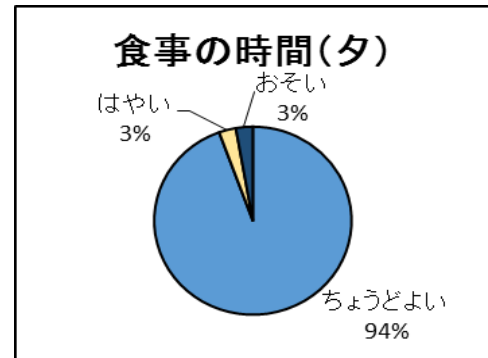
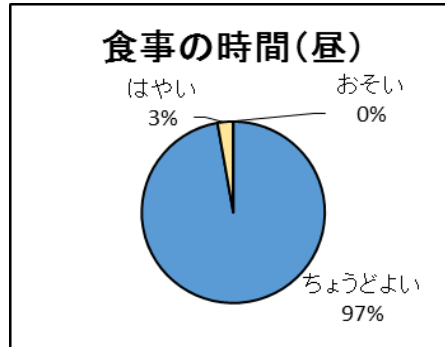
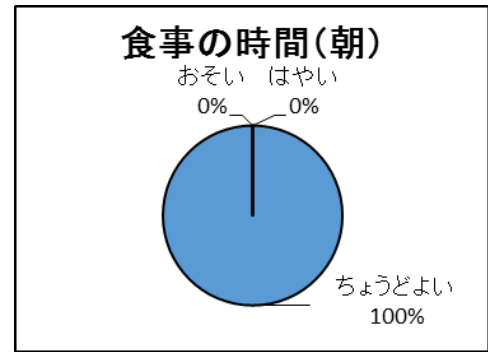
⑤主食の量について

- ・「今のままでよい」が56%–59%で最も多かったです。
- ・「多い」が29%–33%、「少ない」が10%–12%でした。
- ・約40%の方の主食が適量になっていない、と回答されました。



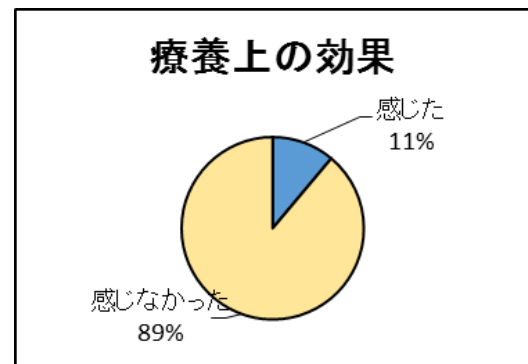
⑥食事の時間について

- ・「ちょうどよい」が94%－100%とほとんどの方がよいと回答されました。
- ・「遅い」が0%－3%、「早い」が0%－3%でした。
- ・「食事が病棟に届いてから、自分のもとに配膳されるまでの時間が長くて残念」との意見がありました。



⑦療養上の効果について

- ・「感じなかった」が89%と最も多かったです。
- ・「感じた」も11%あり、「血圧が安定した」「体重が増えた」などの意見がありました。



⑧その他のご意見

- ・食事が届いてからデイルームで配膳されるまでの時間が長い。(待ち時間が長い)
- ・生野菜が食べたい。
- ・血圧が安定した気がする。
- ・缶詰の果物ばかりで残念。生果物が食べたい。
- ・オレンジが食べにくい。
- ・プリン・ジョア・クリームはおいしい。
- ・きゅうり巻きや茶碗蒸しが食べたい。
- ・前医の方がおいしかった。
- ・揚げ物・カレーが食べられて嬉しい。
- ・漬物が食べたい。
- ・食事が水くさい。
- ・ブロッコリーが多いし同じものばかりでてくる。
- ・リハビリをがんばっているのもう少したんぱく質を増やして欲しい。
- ・18時に夕食を食べてから朝の8時まで時間があくので、その間に筋肉が分解されてしまうのではないかと思う。
- ・ご飯がひと塊に盛り付けられている。何回かに分けてよそったほうがいい。
- ・同じ食材の使用頻度が多い。

【まとめ】

アンケートにご協力いただきありがとうございました。ご意見をいただいた点につきましては、職員で振り返り、少しでも改善できるよう努力してまいります。

今回はコロナ禍でもあり、比較的入院日数が長く普通菜・軟菜を召し上がっている方の多い回復期リハビリ病棟限定で食事アンケートを実施いたしました。

前回調査よりも、おいしいと感じられている方の割合が低下してしまいました。

同じ食事を提供しても、召し上がる方によって味の感じ方に違いがあることを再認識しました。温かいものは温かく提供できるような献立検討や食器の購入など、すぐに取り組める部分から改善していきたいと思えます。また、塩分6g制限は外食等と比較すると、やはり薄味に感じられると思えます。減塩食の必要性も理解していただけるよう、患者さんとのコミュニケーションも大切だと感じました。

患者さん、ご家族の思いに少しでも寄り添える栄養課をめざし、引き続き努力してまいります。今後とも職員一同、よろしく願いいたします。